

八代小の期待する家庭像

- 1 子どもに愛情を注ぐ家庭
- 2 子どもの土台を作る家庭
- 3 子どもが善悪を知る家庭



八代小学校
学校だより

平成 26 年 7 月 14 日 NO5

共通するのは、「素直」という力

こんな素晴らしい素質があるんだ。とことん練習して何回もいつか言うわけですよ。それに対して伸びないのわかつたよという態度の選手は将来的に伸びないでしようね。やっぱり反復練習してそれを素直に受け止めていく選手が伸びるんですよ。たくさん個性のある選手はいましたよ。しかし、自分から潰れていった選手は何人も見ました。うまくならなかった生徒というのには素直に受け止める姿勢がある子供たちですよ。

元国見高校サッカー部監督

小嶺忠敏

高橋は性格が素直の一語につきる。だから強くなる。強くない子は、自分の心を閉ざしてしまっている。いくら強くなるように指導しても、扉を閉ざしているから入っていけないのだ。高橋はいつも開けておいてくれるから、私が言う心にと、また大きく入って、大きく、また言う伸びる。高橋の強さは、そんな素直さなのだ。

元高橋尚子指導者

小出義雄

子どもの気持ちや察しながら、気持ちを分かって努力する事が不可欠ですが、悪いことを見つけたときには、厳しく叱咤することが必要ときもありません。しかし、注意されたときに、いろいろな言い訳をし、あからさまに不愉快そうな顔をすると強く思います。このままほっとけない人から注意されて心地よく感じる人は多くない。しかし、素直に注意を受け入れる人も多くいます。

ます。そんなとき話してよかったと思います。その人のことをもっと好きになります。そうやって人の和が広がっていきます。そうやって注意されたことを素直に聞ける人は、最初からそうだったわけでは無いでしょう。小さいときから、日々の生活の中で、素直に聞くことの大切さを学び、やっと身に付けた人ではないでしょうか。大人になって社会に出た若者たちが、その職場で受け入れられるかどうかは、多くがこの素直さにかかっているような気がしてなりません。小学生に、ぜひ身に付けさせたい力です。

地域の先生 ありがとうございます。

四年生以上の全児童が参加して、年間に五回のクラブ活動を実施しています。本校では地域の方々をお願いし、二十五名以上の指導者の方に参加いただいています。学校と家庭、そして地域の方々に見守られています。子どもたちは成長しています。夏休みには、町内毎に、朝からラジオ体操を予定しています。日時と場所は裏面のとおりです。PTAも、これを機会に地域の方々と子どもたちが会話を交わす関係になることを願っています。



